

水害対策について

環境水産部長
可動式のポンプを早急に検討していきたい。



井上末喜 議員

水害対策について

議員 8月12〜13日にかけて、口之津町の真米地区や前方地区が、床下や床上浸水による被害や、工場のピットに水が入ったり、材料が水浸しになって大変な損害を受けられた。何年か前にもありません。今後こういうことがないようにと答弁されていたが、どうしてこうなったのか。

市長 8月12日の19時頃から降水量が大幅に増え始め、口之津の各雨水ポンプ場では水位の上昇に

伴い、排水ポンプの自動運転による排水を行っていたが、22時から24時までの集中豪雨により想定を超える雨水が流入し、排水ポンプ能力を上回ったために浸水被害が発生した。

議員 1時半頃、どこも連絡が取れないというところで呼ばれて、開田公園のところを通っていたら、車がもう少しで水没しそうになり、急いでバックして回り道をして現場に2時前頃着いた。もう一つの水門があり、開けてみたらみるみるうちに水が引いた。鍵を持った職員が常駐しているはずすぐにできることだと思ふ。

環境水産部長 一回ポンプをかけたのだが、逆に内水面が上がったので自然流下にしていった。ポンプ場の横の古い水路が閉まっていて、開けたほうがいいということ。早い回復ができた。職員のほうが把握できていなかったということ。で申し訳なく思ふ。

前方に限らず、木之崎、開田で使用できるような可動式のポンプを早急に検討していきたい。

年間通しての海岸清掃や公園の手入れについて

議員 移住者の目線での環境を整えることの一つとして、海岸清掃を、また子育て世代から、公園の手入れをしてほしいという意見をよく耳にする。

地域振興部長 山や海、美しい自然環境などが選択肢としておいでになる部分も確かにあると思ふ。口之津町の白浜、加津佐町の前浜など非常に美しい海岸線があり、海水浴場の開設前以外でも定期的に今清掃を行っているところである。



前浜海水浴場（加津佐町）



質問の様子を動画で見よう

森林の整備と林業の推進について伺う

市長
水源涵養機能の向上と山地災害の防止機能を保持するよう努める。



金子 憲太郎 議員

森林整備計画について

議員 雲仙市では、先の豪雨による土石流のため大きな災害が発生したが、本市でも夏吉地区の地滑りにより多くの方が避難をされた。これは夏吉地区が地滑りを起こしやすい地区であるということと、異常な豪雨が降ったために起きたということもあるが、森林の整備が十分にされていないということも影響していると思われる。

また、世界各地で温暖化のためと思われる大規模

模な山火が発生しており、このまま温暖化が進めば、近い将来、本市でも発生するということも考えて森林の整備をしておくべきだと思ふが、どのように考えるか。

市長 本年、4月1日に南島原市森林整備計画を改定し、今後10年間の整備計画を策定した。本計画は、伐採や造林などの森林整備計画や間伐を実施すべき基準などを定めており、本計画に基づき適切な森林の整備を行い水源涵養機能の向上と山地災害の防止機能を保持し、健全な森林の管理運営に努めていく。



間伐作業中

議員 一昨年から森林環境譲与税の配分が始まり、

本市もそれを基金として積み立てていると聞くが有効に活用していくべきではないか。

農林水産部長 現在、管理されていない地区の森林については、アンケート調査や所有者の意向を確認しながら、間伐等を行うなど森林の管理をしていく計画である。

新型コロナウイルス感染症対策について

議員 市内の小・中学校でコロナウイルスの感染者が出た場合の対応策についてはどのようにしているのか。

教育次長 学校でコロナ感染者が発生した場合の対応については、手順を分かりやすくフロー図化したり、保護者にお知らせする文書のひな形などをすでに作成して、学校と共有している。

ただ、学級閉鎖などの基準については、その都度保健所の指導や学校医の助言を受けて決定する。



質問の様子を動画で見よう